

凧通信～あおぞら食堂(炊出し・復興支援)活動報告

第12号 発行 平成24年5月15日株式会社 凧スピリッツ メディア部編集

◆2012年4月報告書……………一般社団法人 あおぞら食堂 代表 椎葉三江

4月度の活動報告をさせていただきます。

朝から鶯の声を聞きながら目覚める日も多くなりつつある南三陸町です。

天気の良い日は15度を超える日もあり、春の風を感じることも出来るようになってきました。それでも前半は雪がちらつく日もあって、今でも夕方以降は上着を着ないと寒いくらいの感じです。まだまだ東北の冬は残っているようです。

さて、何かとおめでたいことの多い4月ですが、ここ「あおぞら食堂」でも嬉しいお知らせがございます。

2月の基礎撤去から休業いたしておりましたが、この度4月20日に無事リニューアルオープンすることができました。



(トレーラーハウス引越の様子)



(設備の移動)

オープンにいたっては移動からのスタート。その際食堂の本体となるトレーラーハウスの移動は、トラクターによる牽引で、地元で酪農業を営んでおられます山内様にやっていただきました。

また、その他の設備の移動に関しては一日がかりでの移動作業となりましたが、常々お世話になっております「災害救援ネットワーク埼玉」の松島様によって無事完了。

お二人がたとも、お忙しい中このためだけにお越し頂き、本当に感謝いたします。

また、4月10日から21日までの間、「ラーメン風」の西尾専務が応援に駆けつけていただきました。



(アラをたっぷり使ったラーメン)



(新作カレー)

仕組みづくりや、レシピ作り、現地の現状把握、などなど多忙な中でのスケジュール調整をして頂けたこと心より感謝申し上げます。



(トレーラーハウス協会久保田様からの沢山の餃子)



(お世話になるヤマカノ醸造の鈴木社長)

メニュー構成や現地の様々な様子の見学に至っては仙台の「五福星」の早坂様にもご多忙の中御協力頂き、本当にありがとうございました。

また、「ラーメン風」生田社長に至りましては海外出張が多いこともあり、メールやフェイスブックなど

でのやり取りにより多忙な中でも、お手伝いいただきましたこと心より感謝いたします。



(オープン日にご来店、[浜の家](#)ご夫妻)



(素敵な笑顔でくつろいでいかれたお二人)

このように沢山の方々の熱い想いと御協力によって4月20日、21日プレオープン。23日リニューアルオープンに至りました。

今後は「一般社団法人 あおぞら食堂」として、ここ南三陸町と共に更なる成長を目指し活動してまいります。

海岸では、漁師の方々によるワカメの収穫にともなう作業が、朝はまだ暗いうちから行われており、海で生きる人々の力強さを感じながら日々を送っております。



(ワカメを浜にあげている様子)



(作業をしている漁師さん)

あおぞら食堂へも色々な地区の漁師さんたちからワカメのご協力を頂いたり、楽しそうに海の話聞かせてくださいます。その生き生きした姿、自分たちの力で元に戻ろうとする姿勢は本当に美しく感じます。



(お手伝いしてくれる W めぐさん)



(入園式の報告に来てくれたちびっ子)

そんな皆さんの憩いの場になれるようこれからも明るい笑顔でお迎えできる場所にしていきたいと思
います。

これからも「あおぞら食堂」をよろしく願いいたします。



(大介の散髪中の生田社長)

◆ラーメン風グループ各店4月募金額

4月から、急遽、「ひなちゃんを救う会」への募金に切り替えさせていただき、あおぞら食堂への店
内募金は一時中断させていただいております。したがって、4月の募金総額は、先月のままです。

3月末現在の募金総額です。3月 6,183,603 円+4月募金額 0円＝ 合計 6,183,603 円。

いつも、皆様のご協力に、心より感謝申し上げます。

◆協賛企業紹介(順不同)

株式会社アブ・アウト(らーめん山頭火)様、株式会社 アール・エー・アール『麺や七彩』様、カネジン食品株式会社様、一般社団法人仙台とどけ隊様、社団法人 日本トレーラーハウス協会様、仙台ラーメン店 五福星様、災害救援ネットワーク埼玉様、大崎裕史様、東京食文化創研舎(食文研)様、株式会社カナテック様、株式会社 Pacific japan 小林様(歌津カー)、株式会社興 明道宇弘様(エコライン寸胴鍋) 株式会社クーカル様 以上。